

## 2 介護老人保健施設

訪問調査年 平成29年

### ○施設サービス計画の進行管理、記録の方法について

ケア記録はパソコンで入力している。スタッフが各自ID番号を持っており、入力及び記録の閲覧を行っている。記録は丁寧に記載して、事実だけではなく職員の判断や今後の対応も記載している。

管理者は施設スタッフの記録をすべて閲覧できる権限を持ち常に閲覧して、施設内がどのような状況にあるかを把握している。

### ○ヒヤリハット・事故発生予防について

事故報告書に事故原因を分析する項目があり、「介護者側」「利用者側」「環境面」の3点から原因分析を行い、その対策及び実施状況を記載している。対策の評価も行い、家族への報告及び説明についても説明日時、説明者、報告を受けた家族氏名等記載され報告の状況がよく分かるよう工夫している。

### ○苦情発生予防と対応について

スタッフやケアマネジャーで対応し、解決できないときは看護師、相談員、場合によっては医師（管理者）が対応する。施設長はパソコンに記載された記録等により現状を把握しているので、スタッフからの相談に対し適切に対応している。

### ○職員の定着と資質向上について

職員の定着を図るため、福利厚生（プロ野球観戦等）や休みを確保できるシフト組む等、リフレッシュできる環境づくりに努めている。

資格を全く持たない職員も居るが、初めに施設の業務を覚えた上で、初任者研修等を受けることにしている。また、同グループ内の別事業所のベテランスタッフを配置し介護技術の指導やケア体制を整えている。

## 1 介護老人福祉施設

訪問調査年 平成29年

### ○苦情発生予防と対応について

苦情相談窓口で苦情があった事例以外にも、家族等の相談等で対応が必要と思われる事例についても苦情として取り上げ、対応している。

### ○生活環境について

居室には自宅等で使用していた家具等を持ち込み、自宅での生活の雰囲気作りをしており、食事は隣接する介護老人福祉施設や通所介護事業所の分も併せて、当該施設の厨房で調理（ご飯と味噌汁は各ユニット）している。

浴室は特殊浴槽以外に、壁に檜を使用している個別浴槽を設置している。

### ○地域との連携について

市の津波避難ビル指定を受け（屋上に300人が避難可）、地域住民が避難できるよう屋上まで外階段が設置されており、年1回、市主催の避難訓練が当施設で実施されている。また、地域住民用の非常食や暖房器具、卓上コンロ等も3階倉庫に備えており、屋上には太陽光発電システムや自家発電装置も設置され、浸水があった場合でも自家発電が利用できるようになっている。

社会貢献・地域貢献として地域の会合に積極的に参加し地域住民との連携を図っている。（地区社会を明るくする運動や清掃・除草活動等）

### ○職員の定着と資質向上について

介護技術習得に力を入れており、年6回ほど介護技術の勉強会の他、資格取得をめざし職員が勉強している。また、虐待防止についても施設内研修を実施し、職員の認識を深めている。

施設運営を円滑にしていくため、各種委員会等を設置しているが、職員全員が何らかの委員会等に所属し活動を行っており、職員のOJTの場にもなっている。